

全世界「『体育科教育』隊員派遣」

1965年～継続中(2023年9月現在)



体育の授業で三角鬼と呼ばれる鬼ごっこを実施
(バヌアツ)

背景/課題

学校体育は世界の9割以上の国でナショナルカリキュラムとして必修化されているにもかかわらず、開発途上国ではその認知度の低さや指導人材・施設の不足等により十分な実施がなされていない。

目的

- 教材作成、教員養成、授業の実践、体育教育を通して、開発途上国の開発を担う次世代の人材育成を行う。

活動内容

- 小・中・高校での体育の授業指導や改善に向けての助言、指導書や教材の作成、課外活動、運動会の開催支援、および教員養成校での授業支援や助言
- 教育省やスポーツ局等でのカリキュラム改訂や研修会実施等の支援
- 地域の保健局やスポーツ局での障害者や住民へのスポーツの啓発活動支援

成果

- 世界79カ国に累計約1,500人以上のJICA海外協力隊体育隊員を派遣。
- 体育科教育は、国の未来を担う子どもたちの健全な心身育成のために重要な役割を果たしている。JICAは、運動会(UNDOKAI)等の学校行事の企画、教材の開発、教員をはじめとする人材育成等、様々な取り組みを実施している。